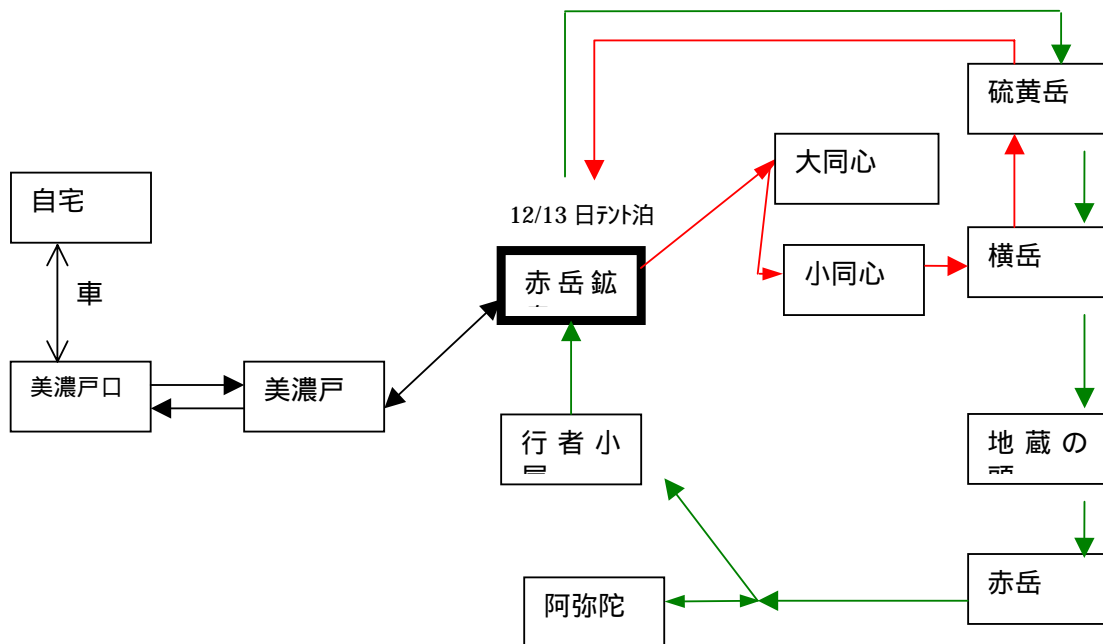


南八 赤岳&小同心クラックルート

2008年8月12~14日

1. 日付 2008年8月12~14日
2. 目的
 - ・南八一般ルート周回(単独)
 - ・小同心クラックルート(TimTamパリエーションルート行参加)
3. 山域 南八ヶ岳 赤岳鉱泉ベーステント泊
4. 概要
 - 8月12日 美濃戸口 美濃戸 赤岳鉱泉にてテント泊
 - 8月13日 一般ルート行
赤岳鉱泉 硫黄岳 横岳 赤岳 阿弥陀 行者小屋 赤岳鉱泉(TimTam合流)
 - 8月14日 TimTamパリエーションルート行参加(6名)
赤岳鉱泉 小同心クラック 横岳 赤岳鉱泉(テント撤収) 美濃戸 美濃戸口 帰宅

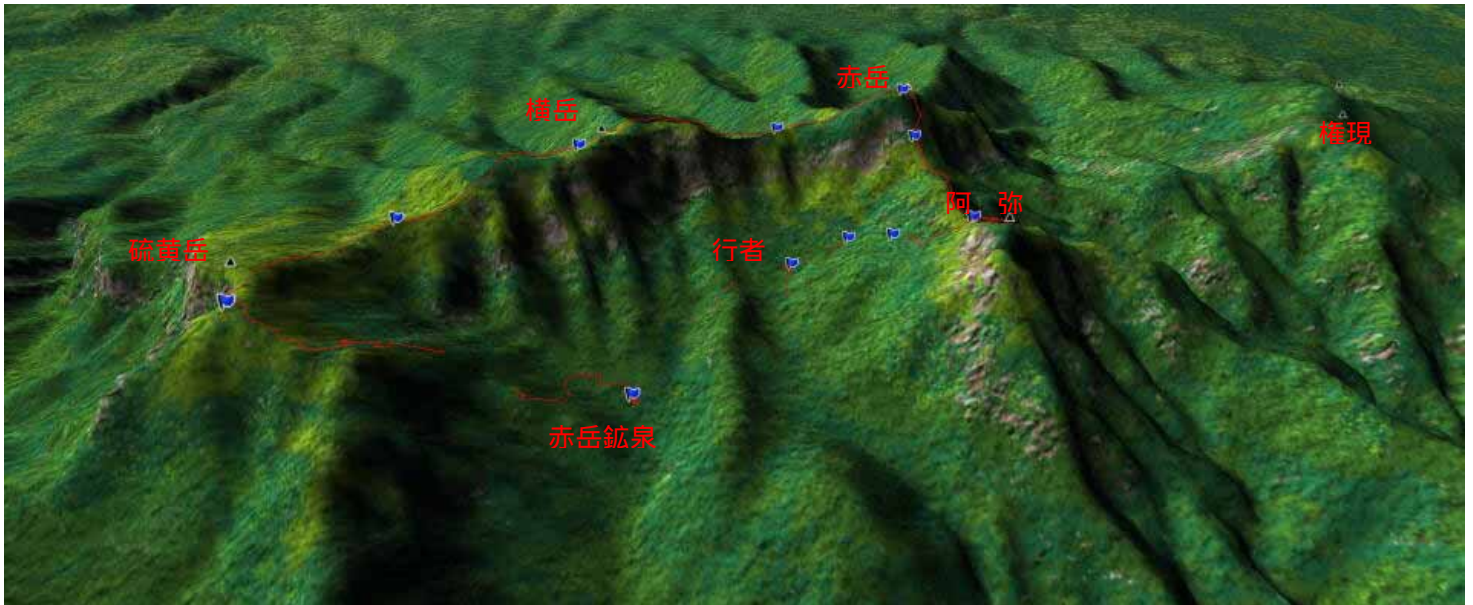


5 . タイムテーブル

	到着	出	時間	標準 / 予定	待ち/休	備考	朝	昼	夕
12日									
自宅		9:30				SSS 中央渋滞			
美濃戸口	13:50	14:05	4:20	3:30	0:15				
美濃戸	15:02	15:20	0:57		0:18				
赤岳鉱泉	17:24		2:04			岳食 カレーうどん			
就寝	20:00								
13日									
起床	4:30								
赤岳鉱泉		6:15				山菜おこわ / 親子どんぶりの素			
稜線分岐	7:36	7:36	2:21		0:00				
硫黄岳	8:00	8:00	0:24		0:00				
小屋	8:18	8:18	0:18		0:00				
横岳	9:08	9:13	0:50		0:05				
地蔵の頭	10:28	10:28	1:15		0:00				
赤岳	11:08	11:16	0:40		0:08				
文三郎分岐	11:51	11:51	0:35		0:00				
中岳	12:11	12:11	0:20		0:00				
中岳コル	12:20	12:20	0:09		0:00				
阿弥陀	12:51	13:05	0:31		0:14	蒸しパン / カステラ			
中岳コル	13:30	13:30	0:25		0:00				
行者小屋	14:05	14:10	0:35		0:05				
赤岳鉱泉	14:45		0:35			15:00 Timtam 合流 岳食 山菜ソバ			
就寝	19:00								
14日									
起床	2:50					赤飯 / 親子どんぶりの素			
赤岳鉱泉		4:53							
大同心基部	6:13		1:20						
小同心基部	6:30		0:17						
小同心	8:22	9:05	1:52		0:43				
横岳	9:30	9:58	0:25		0:28	おにぎり / 菓子パン			
分岐	11:39		1:42						
赤岳鉱泉	12:34		0:55			ラーメンで乾杯			
赤岳鉱泉		14:10				下山開始			
美濃戸口	15:40		1:30						
もみの湯									
自宅	21:00					渋滞			
						携帯食料計	2	2	2

6 . カシミール3 DによるGPSデータのトレース

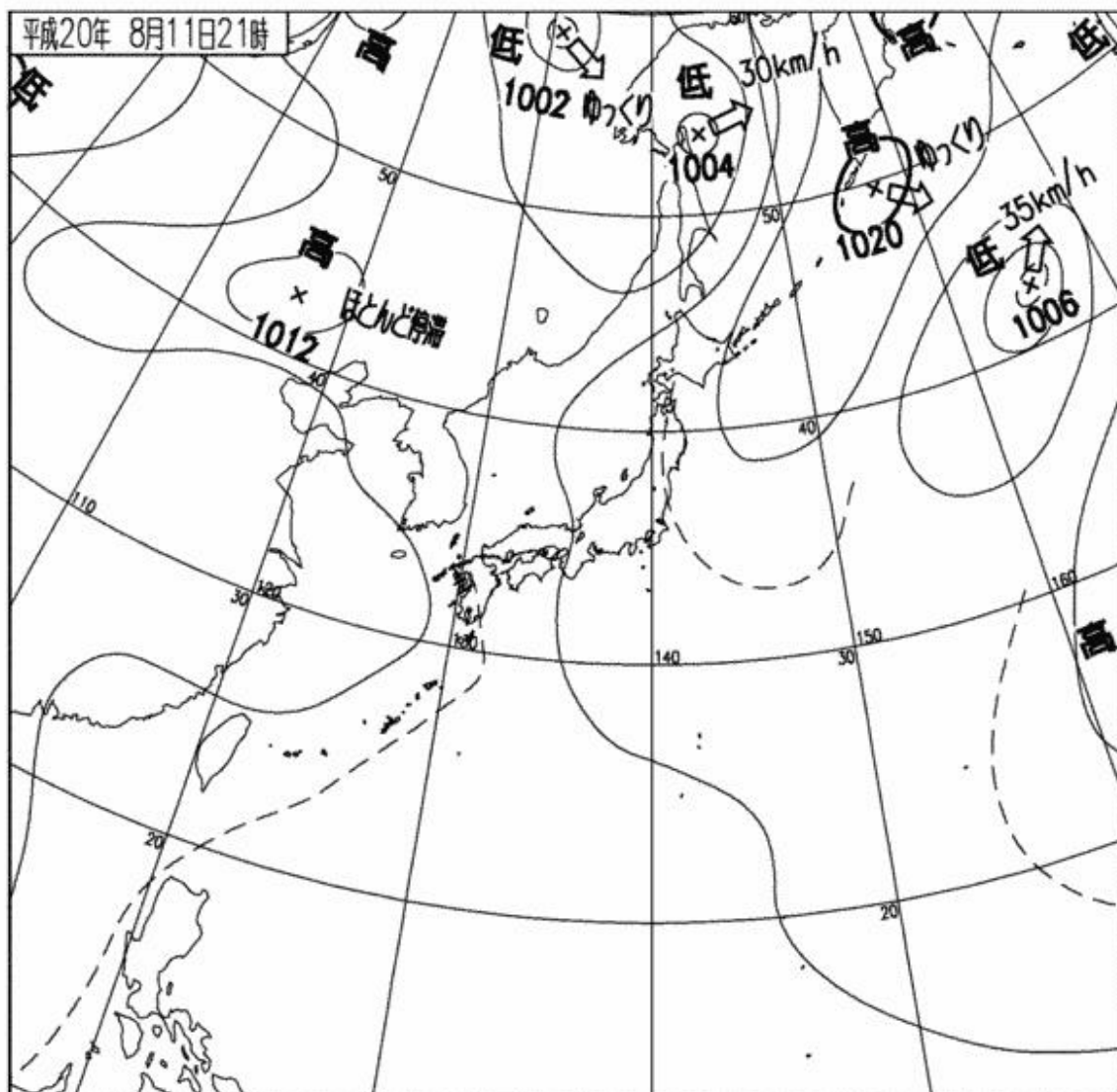
1 3日一般ルート行



1 4日 小同心クラックルート



7. 出発前11日の天気図



8 . 記録

一般ルート周回



渋滞で美濃戸口を出発したのが午後2時頃。5時過ぎに赤岳鉱泉に到着。いつもの定番で水場の前のスノコに1000円多く払って幕営。夜中に豪雨（爆睡で知りません）だった様です。やはり正解です。



大同心と・・・明日の小同心



爆裂火口



コマクサの群落地 花期は過ぎていました。





明日はここを目指します。





中岳より阿弥陀



阿弥陀より権現



主峰 赤岳



明日は横岳・・・あの・・・ウツ・・・・・・・・

14日 小同心クラックルート

生憎のガス。5時少し前に出発です。大同心稜を登ります。これ・・・かなりの急登です。



大同心基部にて



見上げると・・・ドームがガスの中に・・・



赤岳鉱泉出発して1時間20分。
小同心の取付地点に到着です。

大同心からは途中いやらしい草付きがあつたり、カモシカのフンもありました。



続いて小生

二班に分かれてアタックです。

1. 初級 - 燃える熟年チーム
 - ・ M t 講師
 - ・ M s さん
 - ・ 小生
2. ヤングエキスパートチーム
 - ・ H さん
 - ・ K さん
 - ・ S さん

まず熟年チームのM t さんがリードで登ります。
1ピッチ目は最初のビレイポイントまで支点が有りません。



燃える熟年チームのM s さん



怖谷





小同心の頭にて 燃える熟年チームの勇姿です。



横岳頂上にて



12時30分に赤岳鉱泉に戻りラーメンと缶ビールで乾杯。

9 . 花



この花は蕾が赤いのです。



根には毒が・・・ということは薬にもなるのかしら



映画サウンド・オブ・ミュージックを思い出します。



産毛生えているかな？



5弁の花びら・・・梅の花に似ていますねえー。



単発はみかけますが・・・



よく観察すると奇妙な形です。



黄色い花はまぎらわしい



阿弥陀は花の種類 / 数が一番多い感じがします。



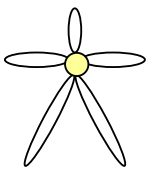
これ・・・阿弥陀で見つけました。横岳ではありません。



小さい花ですが近づいてよくで見ると素晴らしい。



葉肉が厚い。



かろはKさんに渡していたので撮影していません。一般ルートでは見ることがなかった大文字草が小同心の岩場にたくさん咲いていました。花径1.5センチくらいの可憐な花です。



M sさん提供 漢方薬になるのかな。名前からきっと薬の原料に違いない。

10. 気づいた点と反省点

掴んだ岩がポロッ……。思い出すと落ち込みます。よい経験をしたと思うこととした。タブキャンドルを持ってくるべきであった。もう少し優雅な朝飯/夕飯が出来たと思う。大文字草には心が和んだ。小同心は風で寒かったが横岳は風が無く天国の様に暖かった。エネルギーはエコで便利だけどアルカリ乾電池を1組持っていた方が安心だと思う。

おしまい